

八幡浜支局管内の 森林・林業・木材産業について



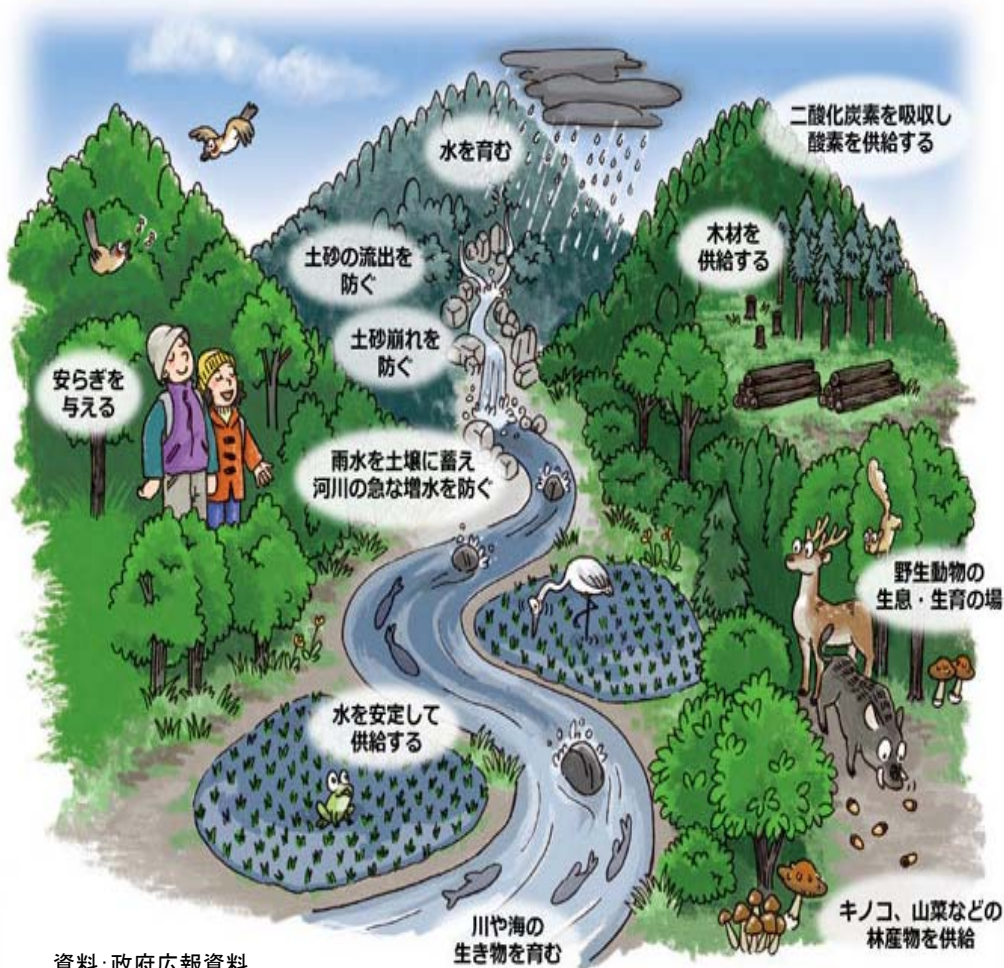
令和6年9月

愛媛県 南予地方局
八幡浜支局 森林林業課

1 はじめに 森林の多面的機能と県民ニーズ

- 森林は、県土の保全、水源の涵養、地球温暖化の防止、木材をはじめとする林産物の供給など多面的機能を有しています。
- 県が実施した“県政に関する世論調査(令和4年11月実施)”では、森林への「山崩れや洪水などの災害を防止する働き」、「水資源を蓄える働き」、「二酸化炭素を吸収する地球温暖化防止に貢献する働き」などを期待するという回答が上位を占めました。

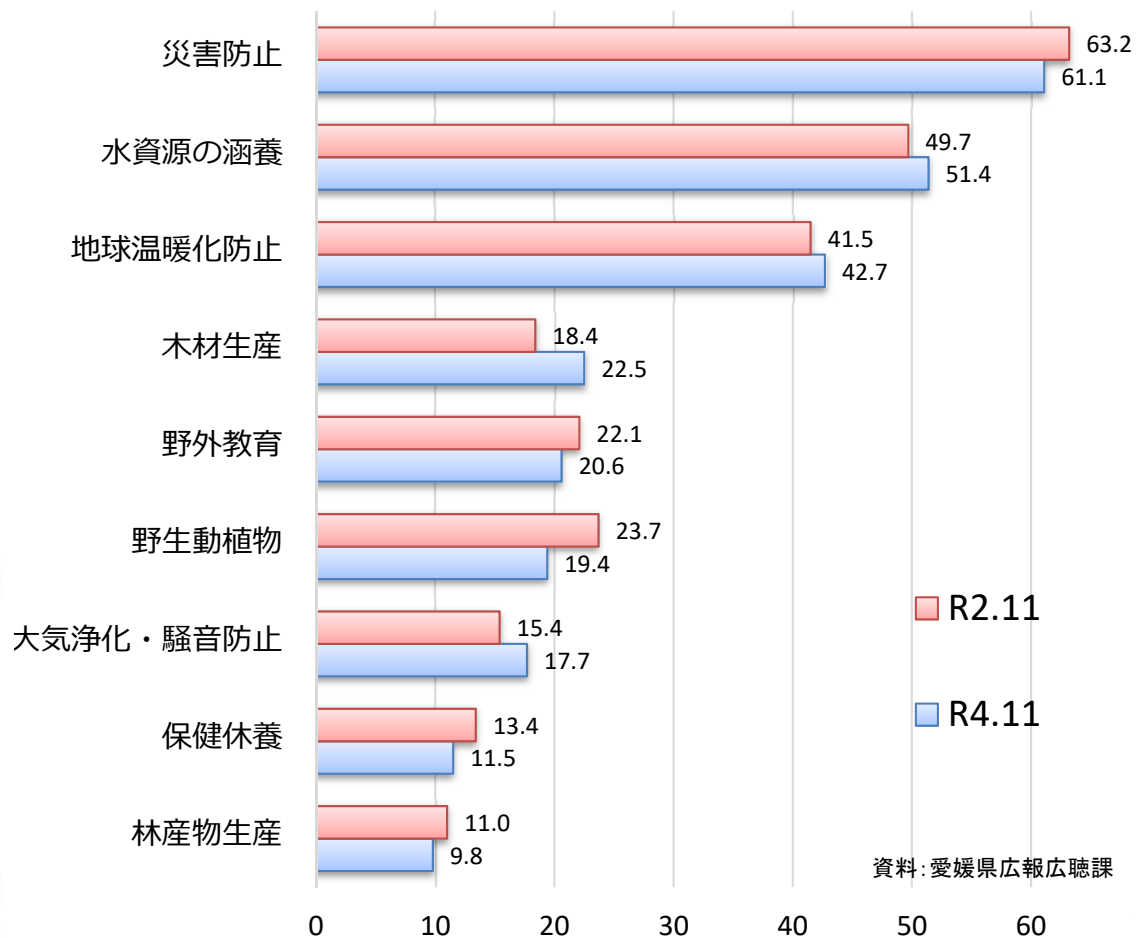
■ 森林の多面的機能



資料: 政府広報資料

■ 県民の森林に期待する働き

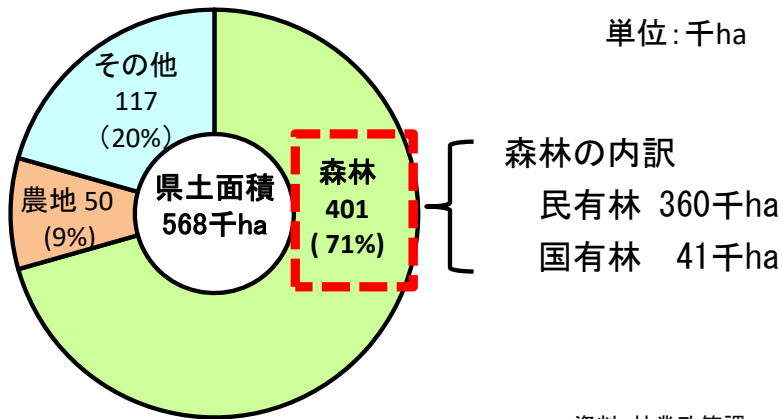
～「愛媛県政に関する世論調査」令和5年3月公表(愛媛県 広報広聴課)～



1 はじめに 愛媛県の森林の概要

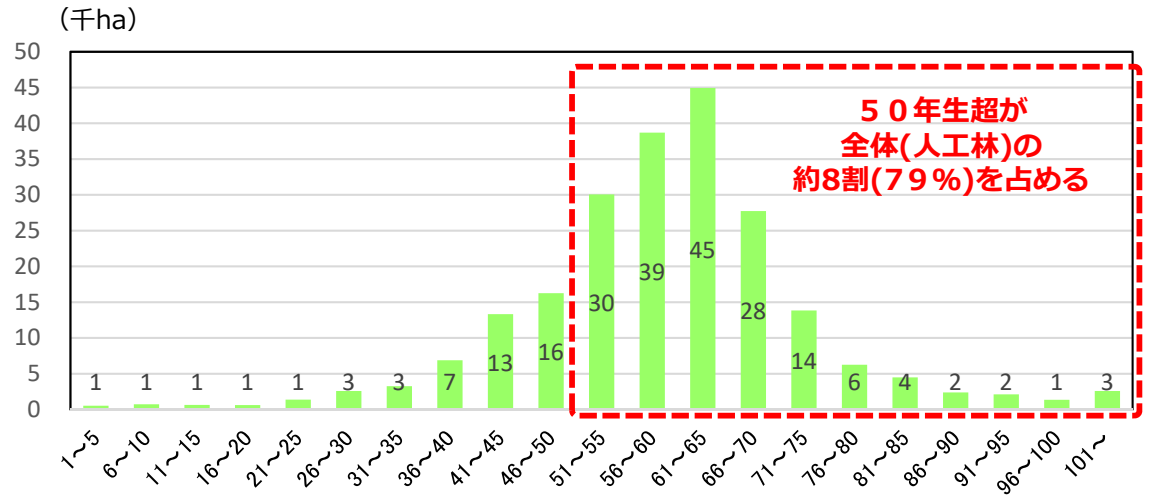
- 県土面積の約7割(約40万ha)が森林です。このうち9割(約36万ha)が民有林、残りの1割が国有林です。
- 民有林のうち、スギ・ヒノキ等の人工林が6割(約22万ha)を占めています。
- 人工林面積の約8割にあたる17万5千haが利用期である50年生を超えており、森林資源が充実しています。
- 現在(R3)、人工林の蓄積は9,383万m³であり、30年前(H3)に比べて2倍となりました。

■ 県土面積と森林面積の内訳



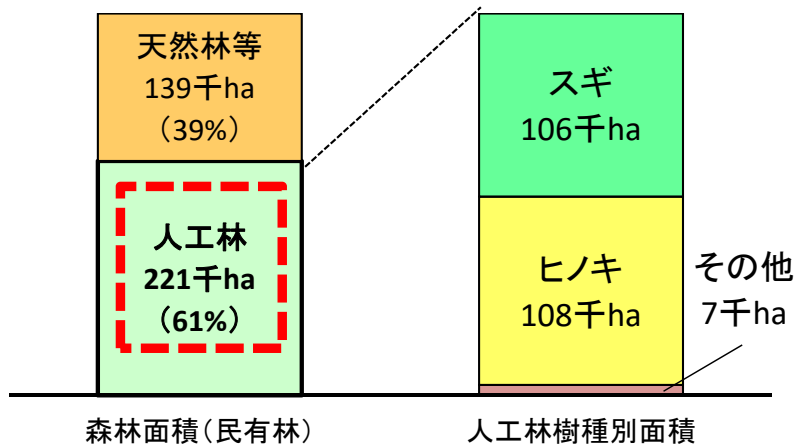
資料: 林業政策課

■ 人工林(民有林)の林齢別面積 (R5年度末)



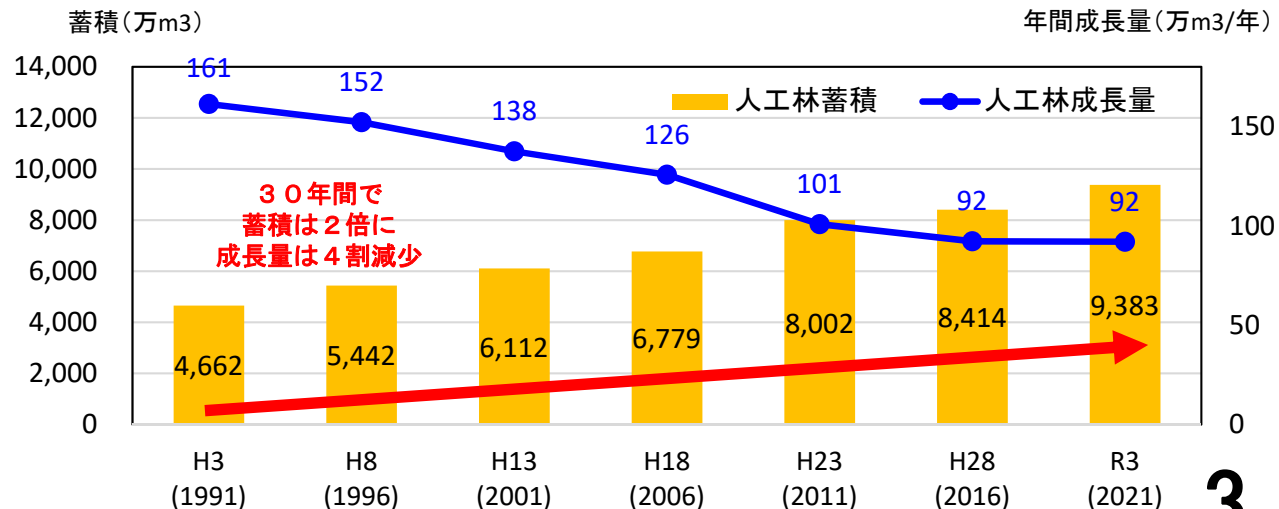
資料: 林業政策課

■ 人工林(民有林)の樹種別面積



資料: 林業政策課

■ 人工林(民有林)の蓄積の推移



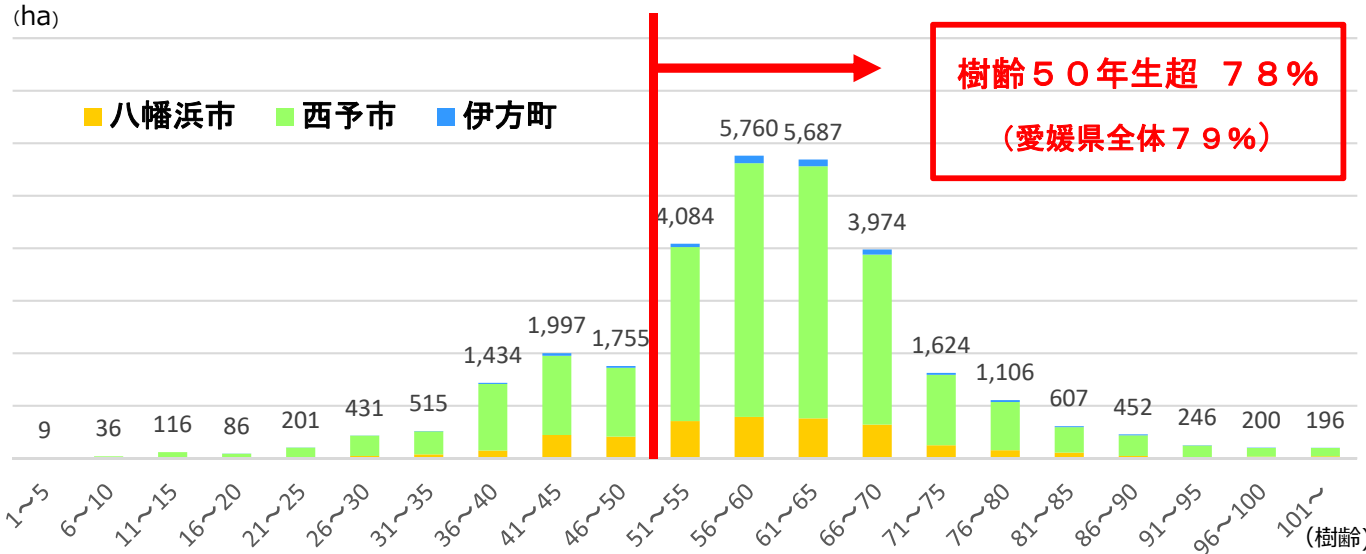
資料: 林業政策課

2 管内の森林(民有林)の現状

- 全ての市町で林齢60年生前後の人工林が多く、50年生以下の若い森林は極端に少ない状況です。
- 当管内はヒノキが多く、八幡浜市及び西予市の人工林率は県平均の61%を大きく超えています。

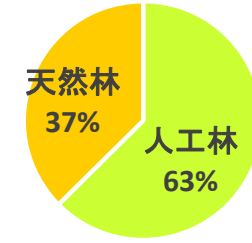
■ 八幡浜支局管内 (森林面積:49,132ha、人工林面積 30,516ha)

資料:八幡浜支局 森林林業課作成

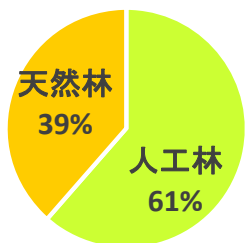


樹齢50年生超 78%
(愛媛県全体 79%)

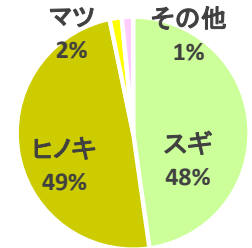
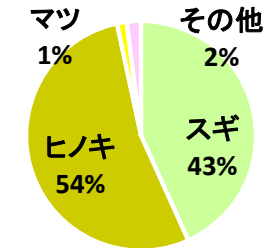
人工林・天然林割合



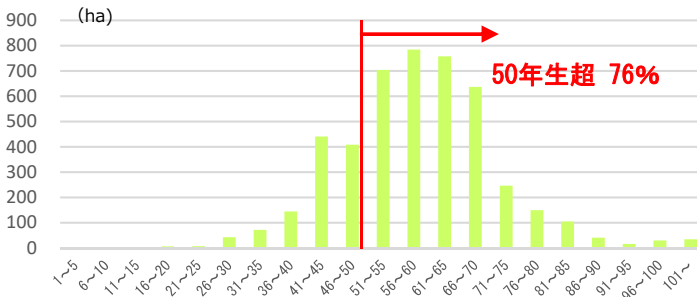
愛媛県全体



樹種別割合(人工林)

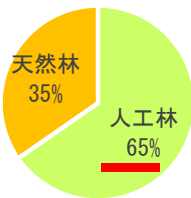


■ 八幡浜市 (森林面積 7,093ha、人工林面積 4,636ha)

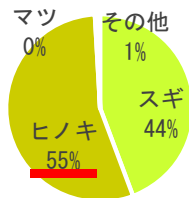


50年生超 76%

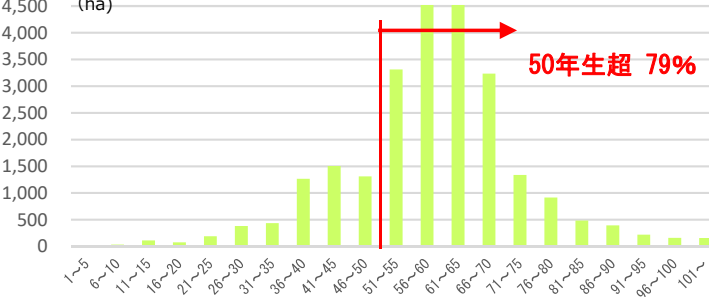
人工林・天然林割合



樹種別割合(人工林)

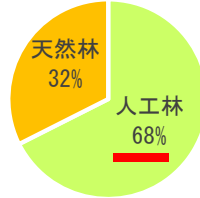


■ 西予市 (森林面積37,320ha、人工林面積 25,214ha)

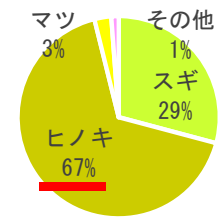


50年生超 79%

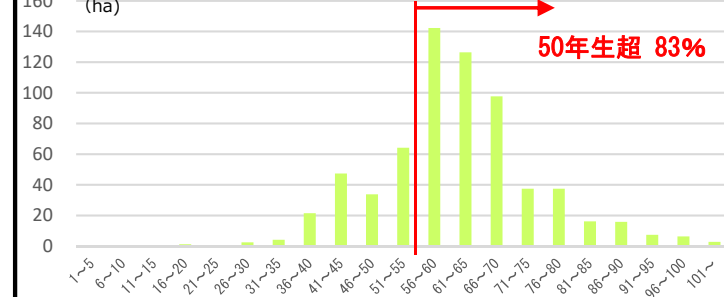
人工林・天然林割合



樹種別割合(人工林)

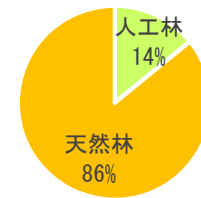


■ 伊方町 (森林面積4,719ha、人工林面積 666ha)

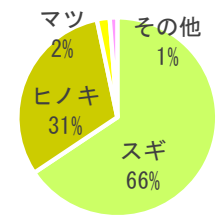


50年生超 83%

人工林・天然林割合



樹種別割合(人工林)



3 山地の防災と減災

- 気候変動により豪雨が激甚化するリスクを見据え、治山対策として荒廃山地の災害復旧及び山地災害の未然防止と、災害に強い森づくりの造成を図るため、緊急かつ重要度の高いものから計画的に実施しています。
- 30年7月豪雨災害では、八幡浜支局管内(大洲地区を含む)において、早急に復旧整備の必要な47か所(事業費29億円)について、災害関連緊急治山事業及び治山激甚対策特別緊急事業を活用し、令和5年度までに96%が完了し、本年度末をもって全て完了する計画となっています。

復旧治山事業(西予市城川町野井川)



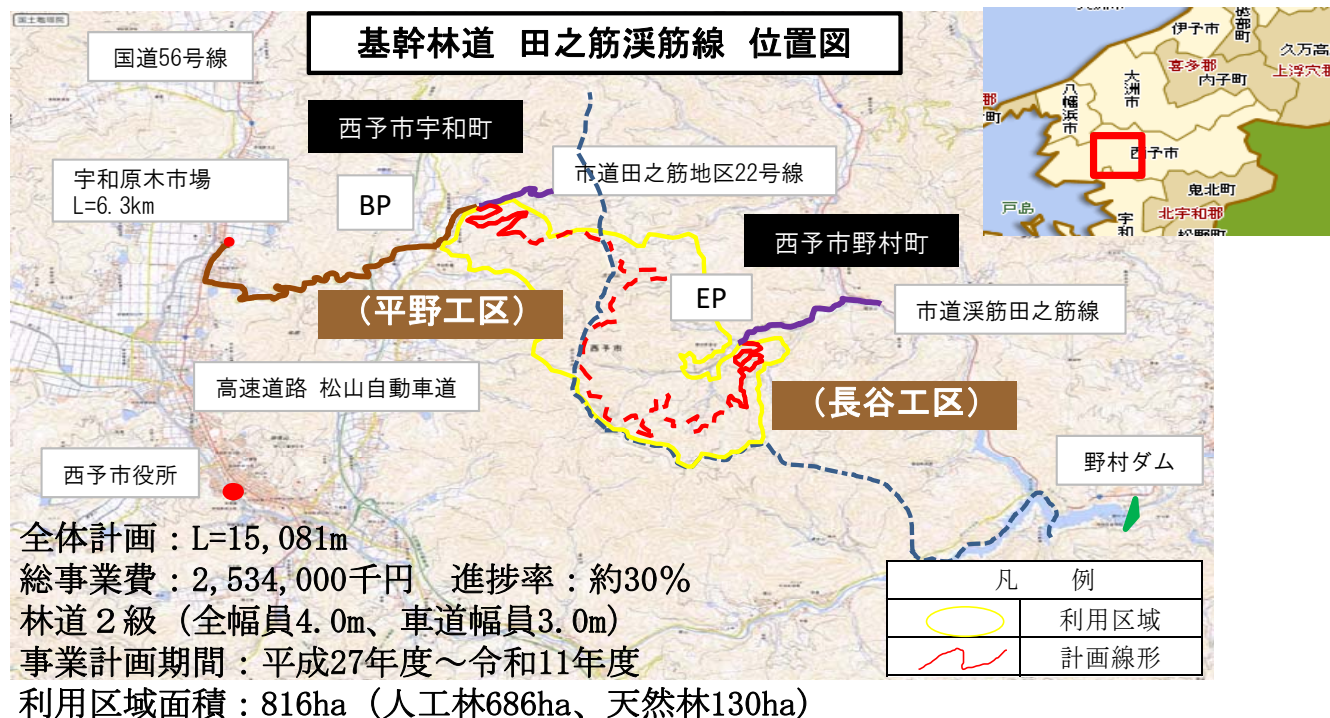
保安林総合改良工事(西予市野村町高瀬)



4 森林整備に必要な路網の整備

- 適正な森林施業の推進や木材の循環利用促進に必要な林道等の路網整備については、地域森林計画や林道網整備計画に基づき、国庫補助事業、交付金事業、さらには県単独事業を活用して、森林基幹道及び森林管理道の開設を進めています。

県営林道 田之筋溪筋線 開設工事(西予市)



利用の状況



5 地域の課題 令和5年度 林業躍進プロジェクト推進会議 主な意見や要望

1. 主伐・再造林推進のための担い手の確保について

- ・現在の作業員で主伐を進めると再造林・下刈ができないため、再造林・下刈等の保育作業の担い手を増やして欲しい。(川上)
- ・再造林等の保育作業に係る単価を高くし、再造林を行なう作業員の支援をして欲しい。(川上)
- ・移住者等の他業種から人材を確保する方策を打ち出して欲しい。(川上)
- ・森林環境譲与税で再造林や下刈に対する支援を検討している。(市町)
- ・大径化したクヌギの主伐を検討している。(市町)
- ・新規就業者への支援制度も構築し、移住フェア等にも参加して担い手確保に取り組んでいるが実績は少ない。(市町)
- ・保育に特化した労務班の編成を考えてもいいのかと思う。(川上)

2. 主伐・再造林の推進について

- ・主伐は直営で実施しているが、自社で再造林等を実施すると林業機械の稼働率が下がり経営が厳しくなるので、再造林等は外注している。保育専門班の創設が必要ではないか。(川上)
- ・再造林や下刈の外注は可能であるが、年間通じての事業量はない。(川上)
- ・森林所有者は高齢者が多く、再造林に係る費用を負担いただくことへの理解が得られないことが多い。(川上)
- ・主伐に取り組みたいが、作業員が若く経験不足のため、今の状況では困難である。(川上)
- ・主伐後は、条件が良いところだけスギ・ヒノキを植林し、それ以外は天然更新か広葉樹の植栽を行なう予定である。(川上)

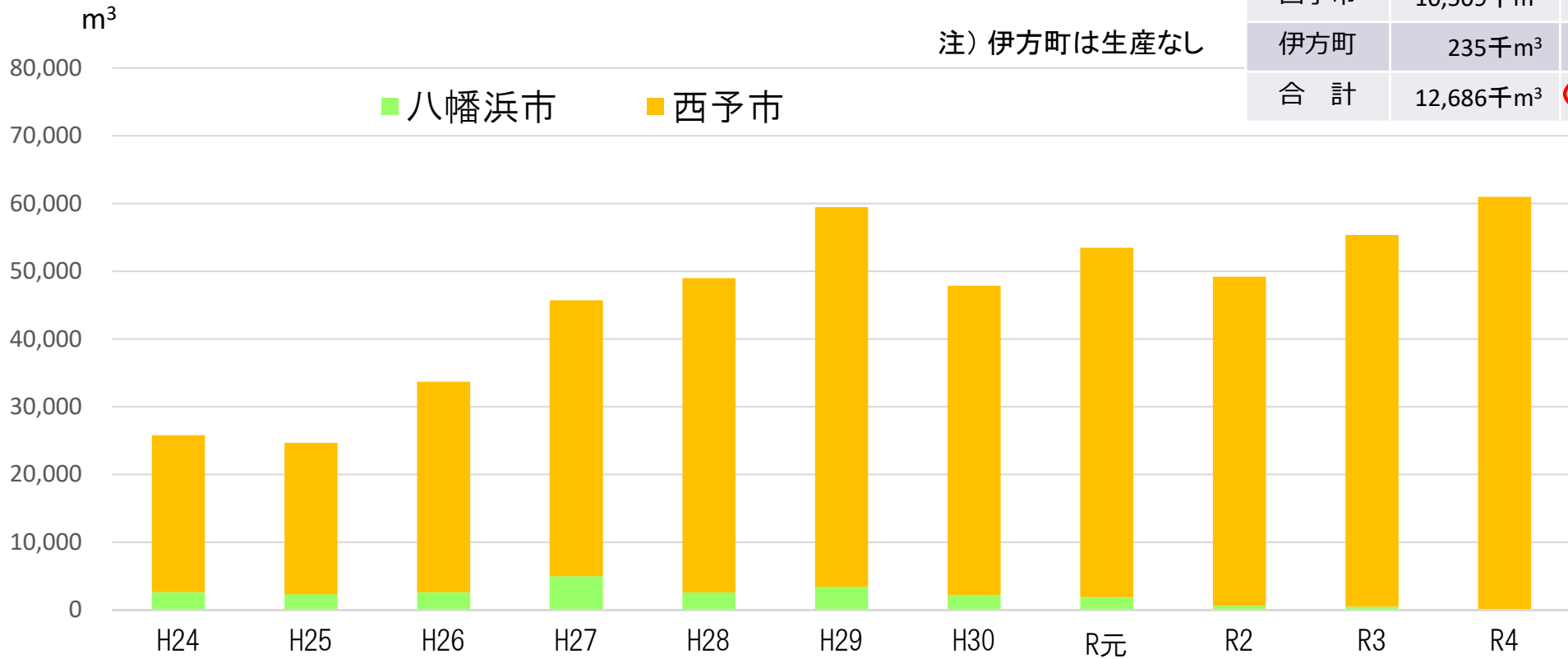
3. 森林環境譲与税及び市町からの支援等について

- ・活性化センターによる再造林・下刈への上乘せ補助が令和5年度で終了するため、引き続き市町の支援継続を望む。
- ・再造林・下刈に対する支援を望む。(川上)
- ・林道管理や新卒者・移住者への支援にも対象を拡大した。(市町)

6 管内における木材生産量の推移

- 木材生産量は林業躍進プロジェクト開始(H25)以降増加傾向にあります。
- 人工林の成長量に比べて木材の生産量は、約7割となっています。

市名	人工林蓄積	成長量
八幡浜市	1,942千m ³	17千m ³ /年
西予市	10,509千m ³	95千m ³ /年
伊方町	235千m ³	2千m ³ /年
合計	12,686千m ³	114千m ³ /年



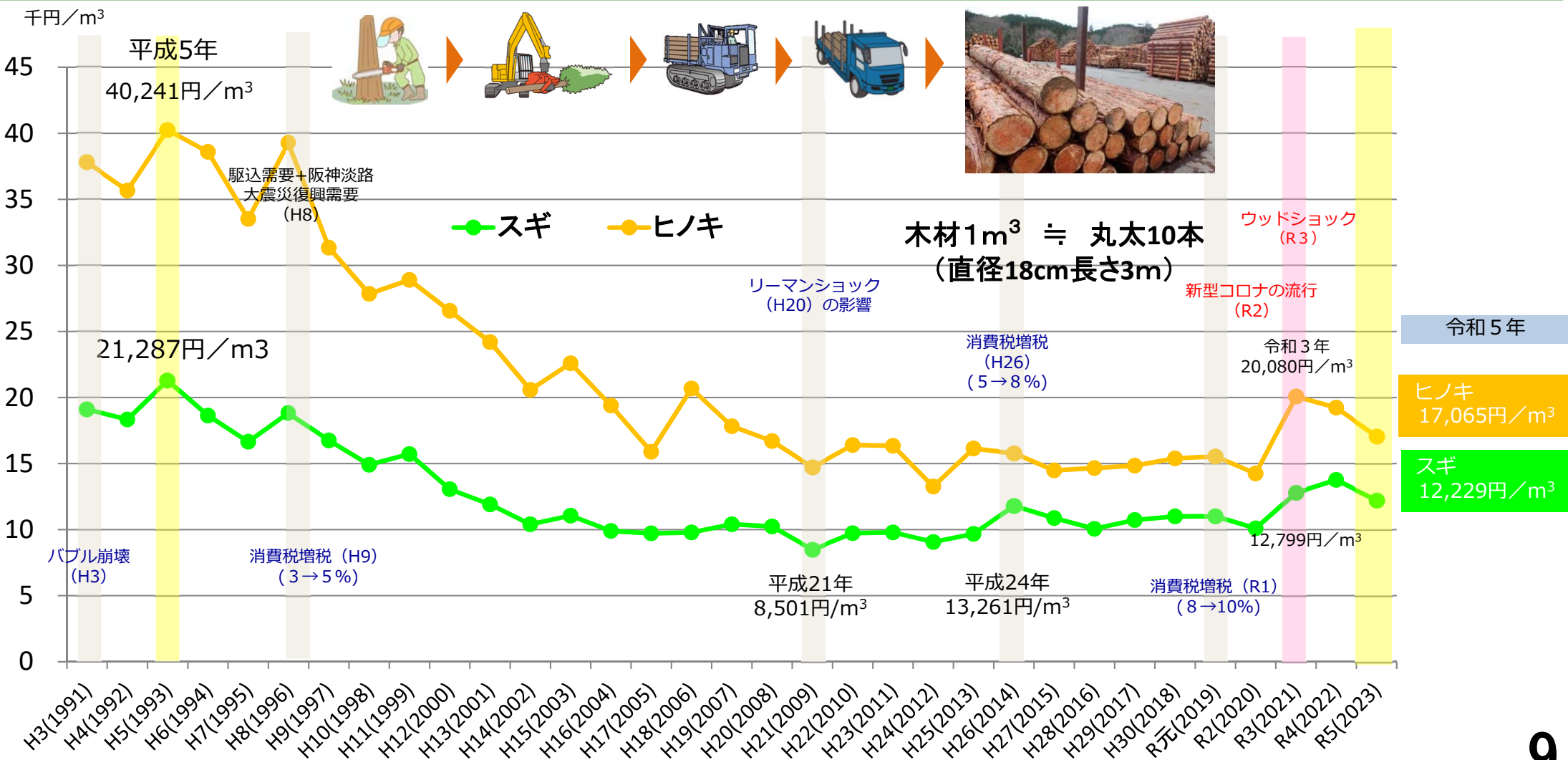
市名	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4
八幡浜市	2,648	2,342	2,627	5,010	2,617	3,451	2,249	1,918	613	491	129
西予市	23,163	22,355	31,055	40,704	46,363	56,009	45,606	51,542	48,581	54,842	60,840
合計	25,811	24,697	33,682	45,714	48,980	59,460	47,855	53,460	49,194	55,333	60,969

成長量の約5割を生産

10年間で、2.4倍の生産量

7 林業の現状(木材価格の推移) 木材(丸太) 1m³あたりの市場価格

- 木材価格は高度経済成長に伴う需要の増大等の影響により昭和55年(1980)にピークを迎えた後、木材需要の低迷や輸入材との競合により長期的に下落してきましたが、近年は概ね横ばいが続いています。
- 令和2年は、コロナ感染症の影響により経済活動が縮小し、住宅着工数が減少したことで木材需要が停滞。
- 一方、同年後半からは、米国での住宅需要の高まりや海上輸送の混乱による輸入木材の代替として国産材需要が高まり、いわゆる“ウッドショック”の影響により価格が高騰しました。

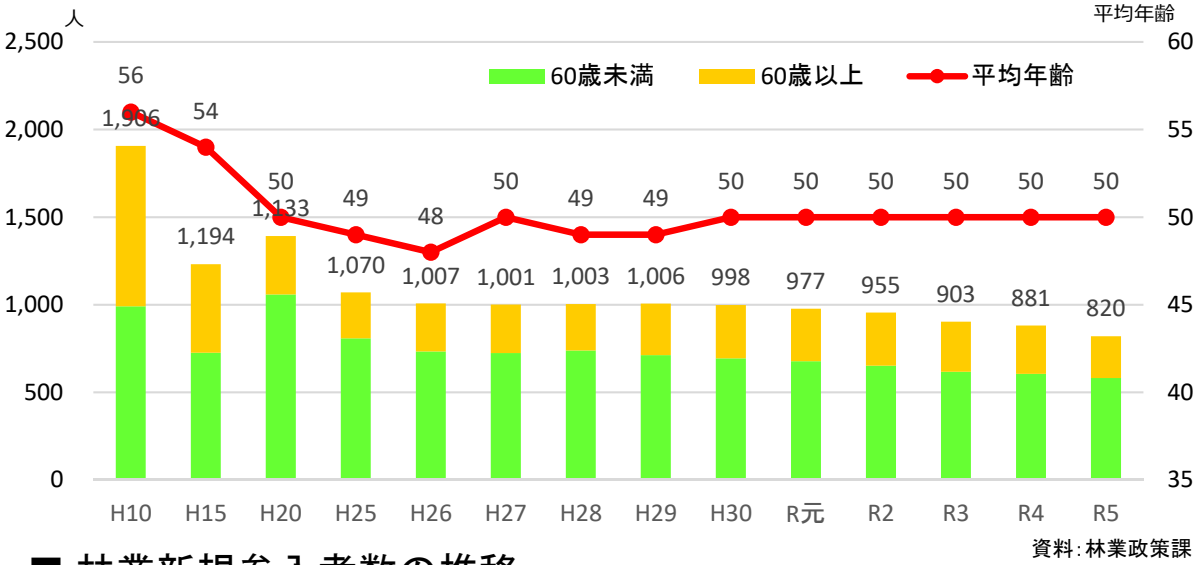


資料：林業政策課(愛媛県森林組合連合会市場平均価格から)

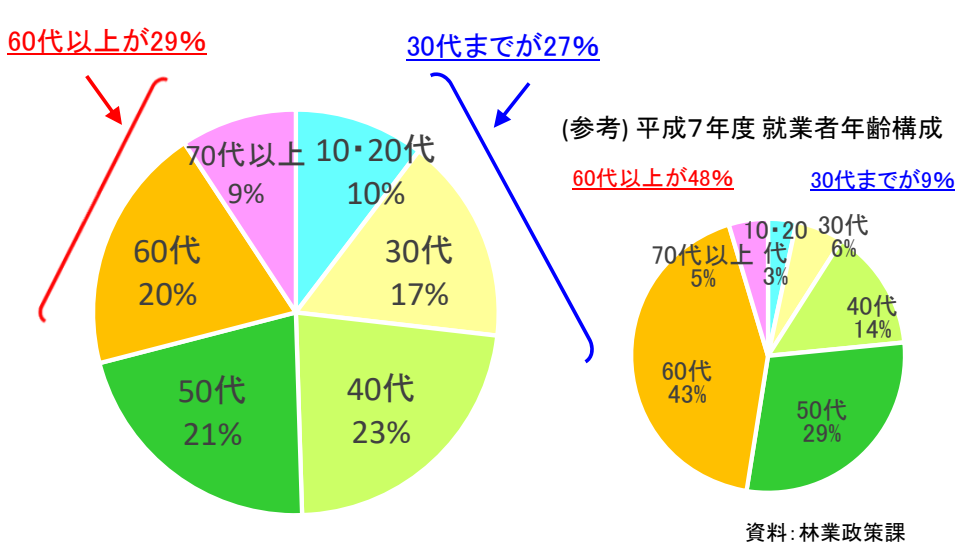
8 愛媛県の林業労働力の現状 ①

○県内の林業就業者は減少傾向で推移していますが、平成26年度以降やや暫減傾向。令和5年度現在820名。
 ○5年度の新規参入者は65人となっていますが、離職する者も多く、担い手の増加に繋がっていないことが課題。
 ○当管内では、地方局予算を活用し、農家や女性に対するチェーンソーの取り扱いに関する安全講習を実施しているほか、高校生に対する職業体験を重点的に行うなど、新たな労働力の確保に取り組んでいます。

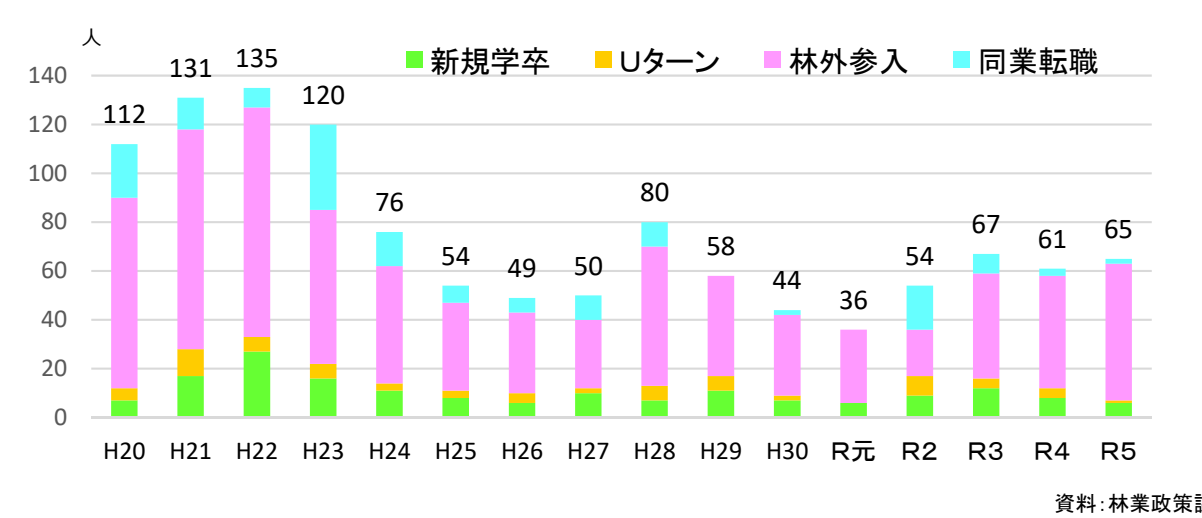
■ 愛媛県における林業労働力の推移



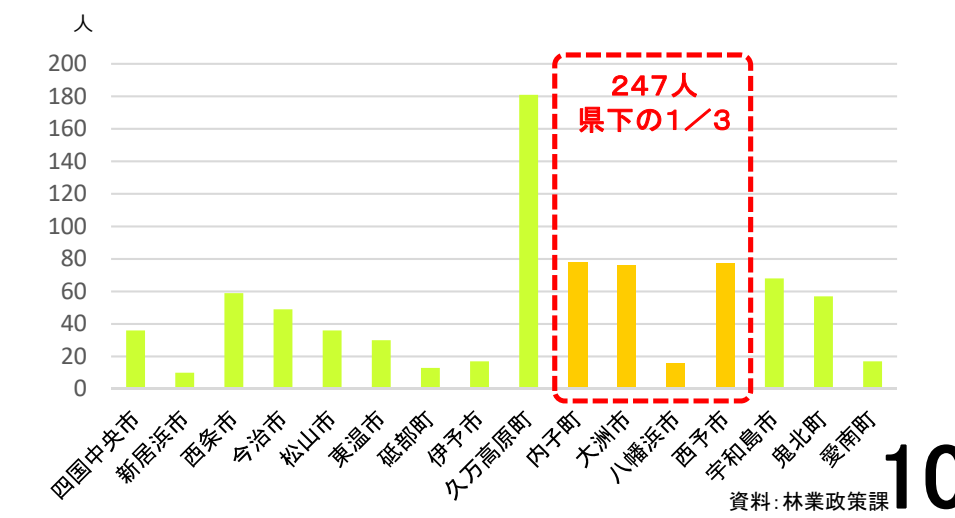
■ 令和5年度 就業者年齢構成



■ 林業新規参入者数の推移



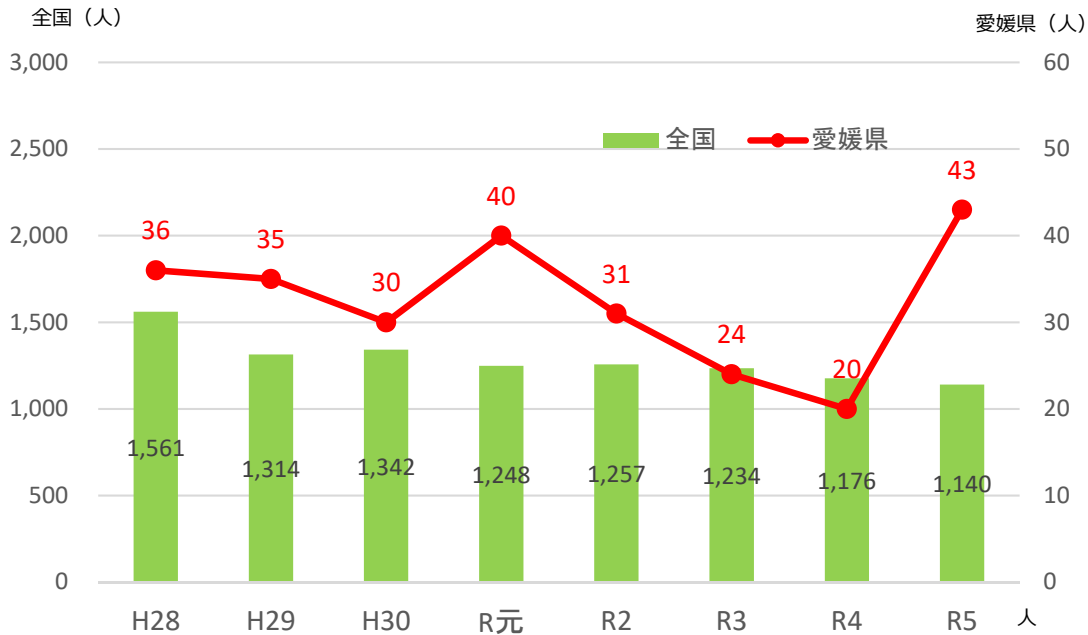
■ 令和5年度 地域別就業者数



9 愛媛県の林業労働力の現状 ②

- 県内の林業労働災害の発生は減少傾向で推移。しかし、他産業に比べて高い発生率。(全産業の約10倍)
- 年間所得は、他産業に比べて約90万円低い。更に愛媛県は全国平均と比較して低位に留まっています。

■ 林業労働災害 発生状況の推移(過去10年)



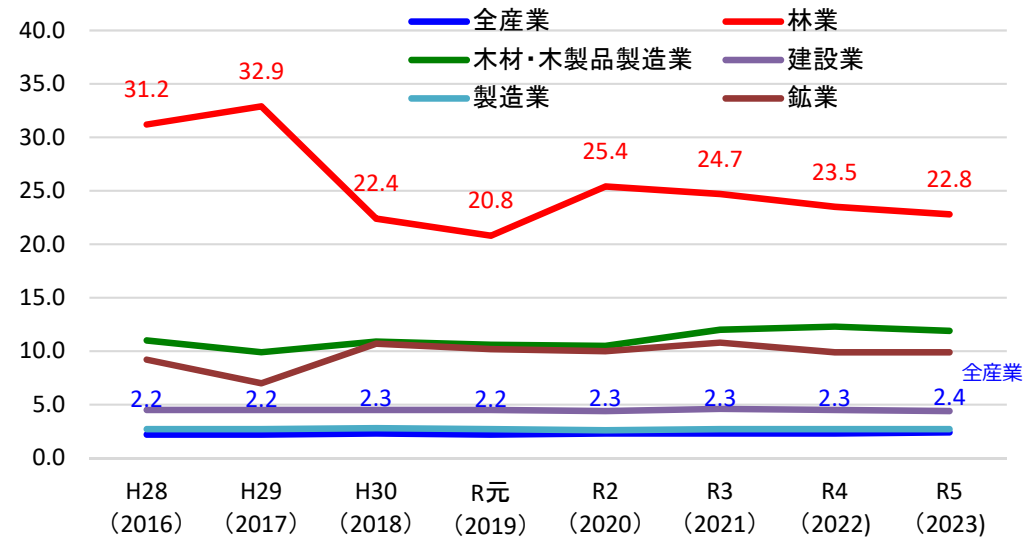
資料: 愛媛労働局

■ 県内の林業労働災害 発生状況の推移

年次	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R元 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2021)	R5 (2023)
発生件数	36	35	30	40	31	24	20	43
うち死亡者数	1	1	0	0	0	1	0	1

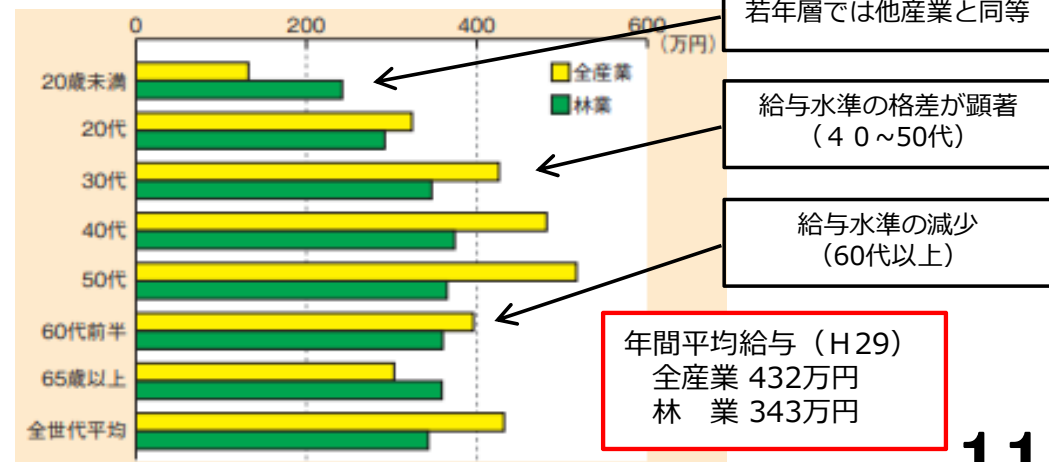
資料: 愛媛労働局

■ 業種別労働災害の発生率 (1,000人当たり(休業4日以上))



資料: 厚生労働省HP「職場の安全サイト」

■ 全産業と林業従事者の平均給与



資料: 国税庁「民間給与実態統計調査」、林野庁業務資料

10 管内の林業労働力確保について（令和5年度事業から）

現状

地元の製材所は大型化や効率化を進め、木材需要量は年々増加している。生産コストを抑え、競争力を高めるために、地元産の木材を求めています。

木材供給側である林業事業体では、機械化の推進、労働生産性の向上などから、木材生産量を増やしているものの、生産を支える管内の林業労働力は、過去5年間で約2割減少しています。

林業従事者の推移（過去5年間）



大型化が進む製材業

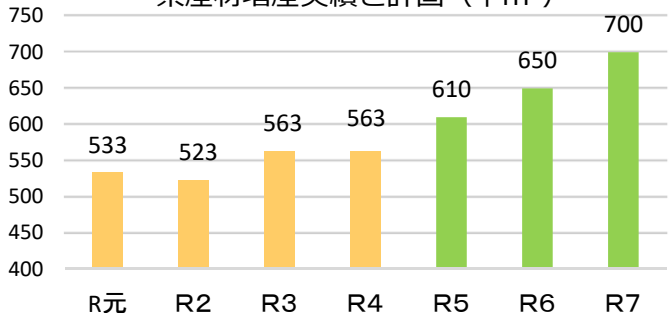
課題

林業躍進プロジェクトに基づき、利用可能な森林資源の主伐を推進することで県産材を増産し、関連産業の競争力強化と雇用の創出を図る必要があります。

しかしながら、担い手不足は深刻化しており、特に主伐後の植栽・下刈りを支える技術員の確保が急務となっています。

林業躍進プロジェクト

県産材増産実績と計画（千m³）



植栽や下刈りを支える担い手確保が急務

対策

【地方局予算】林材業人材育成事業(R4~6)

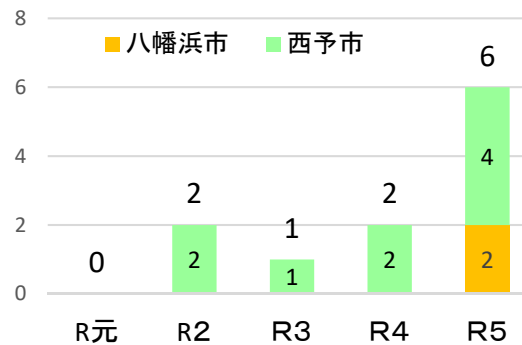
当課では、令和4年度から地元林業を支える担い手を確保するため、**高校生を対象に**、木材生産の現場から加工流通まで一体的に捉えた研修を行うことで、**地域に根ざした身近な産業**であることや、**就業先としての認識を促しています。**



実施校	参加人数	実施内容
内子高校小田分校(内子町)	33	林業体験、製材・原木市場・バイオマス発電所見学
大洲農業高校(大洲市)	27	森林・林業に関する講義 製材工場・CLT建築物等見学
	21	林業体験
三崎高校(伊方町)	45	林業体験、製材工場見学、木工体験
野村高校(西予市)	13	林業体験
川之石高校(八幡浜市)	12	林業体験
合計	151	

受講した生徒3人が地元森林組合に就職するなど一定の成果が出ています。

管内における新規参入者の推移（人）

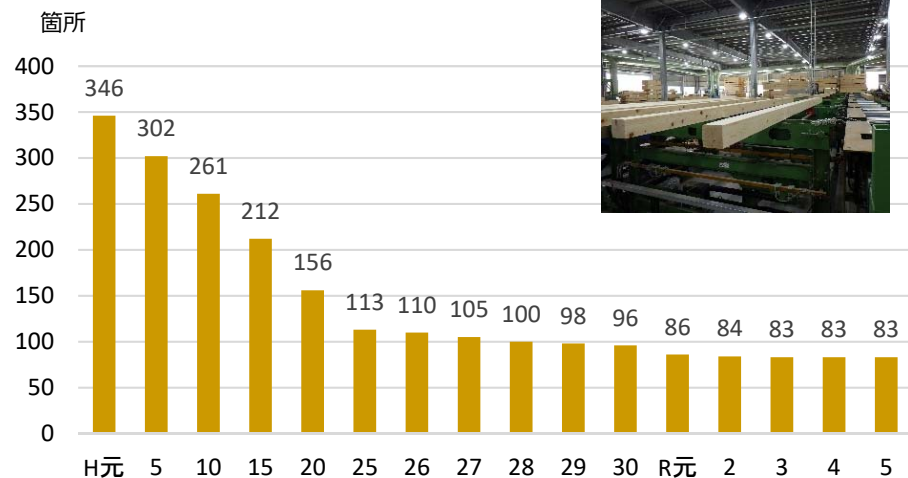


森林組合の新入社員研修

11 県内木材加工(製材工場)の状況

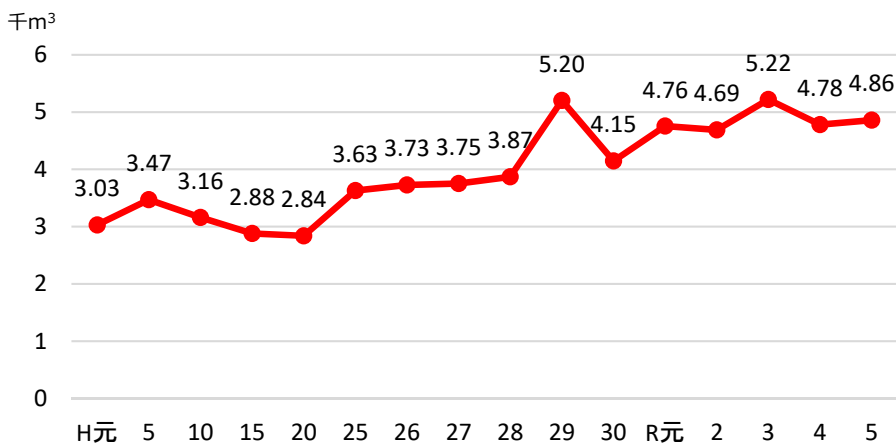
- 県内の製材工場は年々減少しています。(令和5年末現在 83工場)
- 一方で、1工場当たりの生産量は増加しており、大規模化が進んでいます。
- 製品出荷に占める乾燥材の割合は全国平均に比べて高くなっており、愛媛県産材製品の高品質・高性能化が進んでいます。(令和5年 製品のうち乾燥材の占める割合:全国平均50%、愛媛県67%)

■ 製材工場数の推移



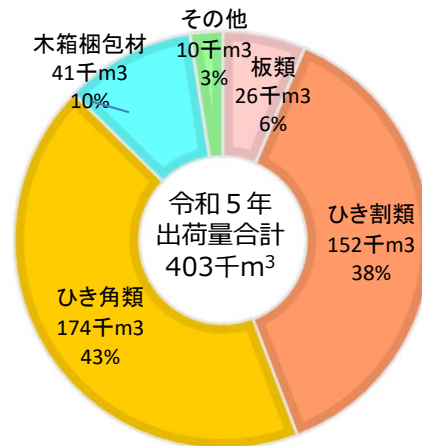
資料: 林業政策課「木材需給関係資料」

■ 1工場当たりの生産量の推移

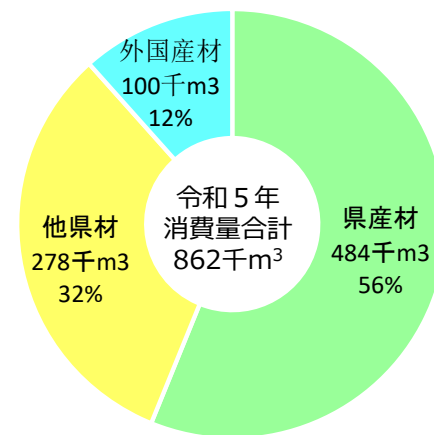


資料: 林業政策課「木材需給関係資料」

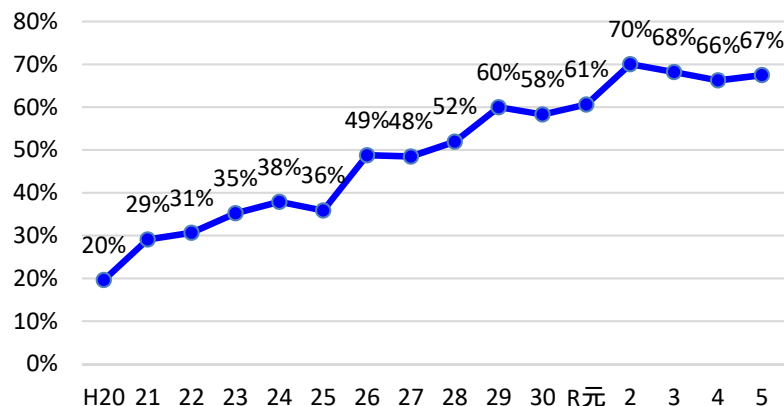
■ 用途別製品出荷量(割合)



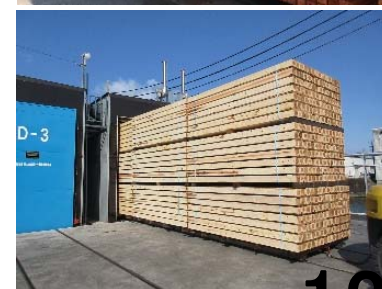
■ 産地別素材消費量(割合)



■ 乾燥材の割合



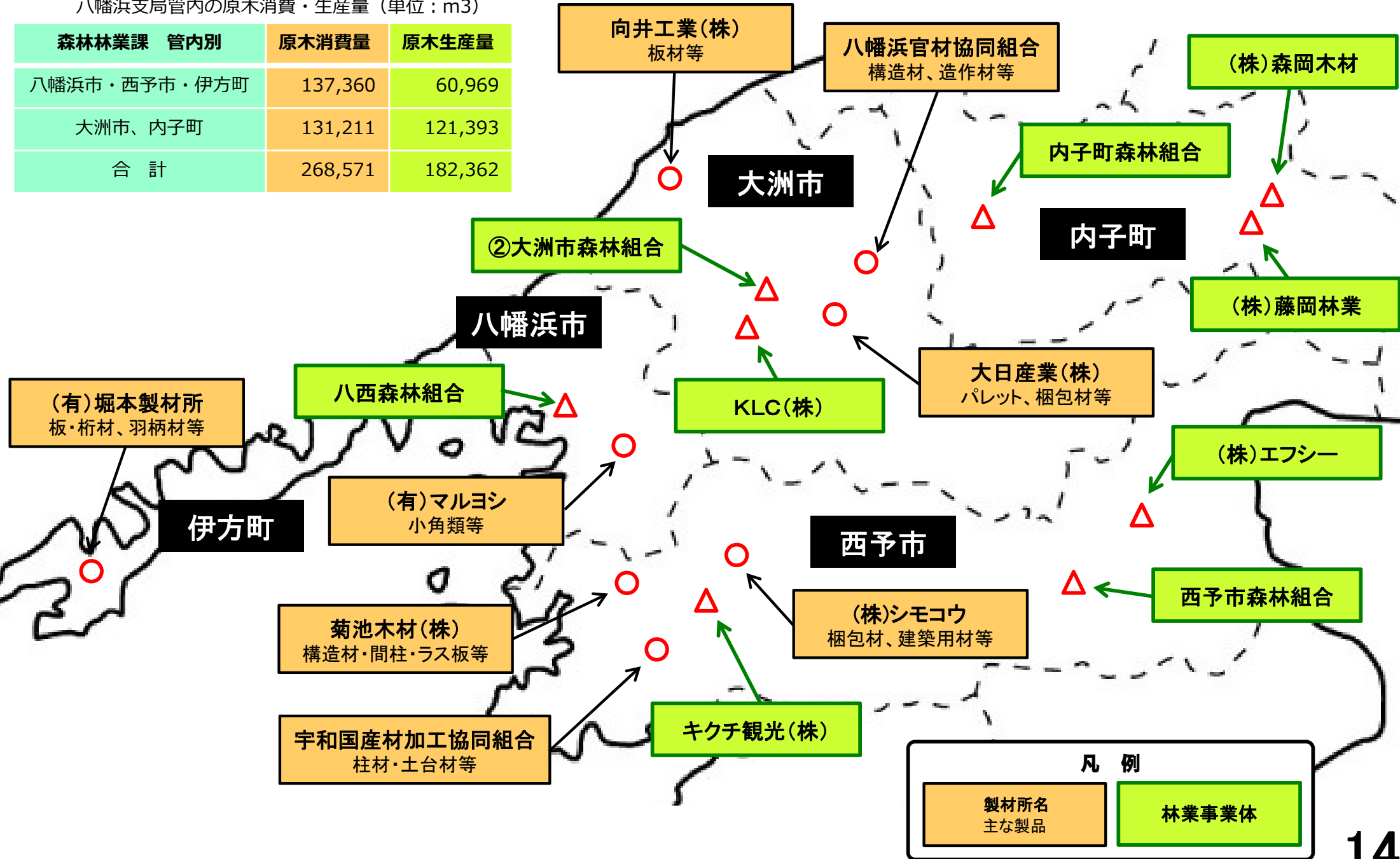
資料: 林業政策課「木材需給関係資料」



12 八幡浜支局管内における主な事業体(木材生産・加工)

八幡浜支局管内の原木消費・生産量 (単位: m3)

森林林業課 管内別	原木消費量	原木生産量
八幡浜市・西予市・伊方町	137,360	60,969
大洲市、内子町	131,211	121,393
合計	268,571	182,362



凡例

製材所名 主な製品	林業事業体
--------------	-------

13 八幡浜支局管内における木材利用の拡大について

- 人口減少が進み、住宅需要の減少が見込まれる中、住宅分野における国産材利用に加えて、これまで木材があまり使われてこなかった中高層建築物や非住宅建築物等での新たな木材需要の創出が必要です。
- 当管内では、未利用木材を使用する木質バイオマス発電施設が稼働しているほか、木質ペレットなど燃料材としての利用が増加しています。

図書交流館「まなびあん」
(西予市)



西予市木質ペレット製造施設
(西予市)



(株)大森商機大洲営業所
(大洲市)



亀ヶ池温泉
(伊方町)



(参考) 管内の森林・林業・木材産業が占める割合

項目	愛媛県	八幡浜支局管内全体 (大洲市、内子町 八幡浜市、西予市、 内子町)	左記の 県内に 占める 割合	八幡浜市・西予市 伊方町	左記の 県内に 占める 割合
森林面積(民有林)	359,559ha	99,382ha	28%	49,132ha	14%
人工林面積(民有林)	220,858ha	62,201ha	28%	30,516ha	14%
うち スギ面積	105,477ha	26,896ha	25%	9,837ha	9%
うち ヒノキ面積	108,213ha	33,213ha	31%	19,639ha	18%
素材生産量	673,353m ³	182,362m ³	27%	60,969ha	9%
うち スギ生産量	387,408m ³	96,327m ³	25%	24,658m ³	6%
うち ヒノキ生産量	232,080m ³	79,187m ³	34%	36,264m ³	16%
製材所原木消費量	649,121m ³	268,571m ³	41%	137,360m ³	21%
林業従事者	820人	247人	30%	109人	13%